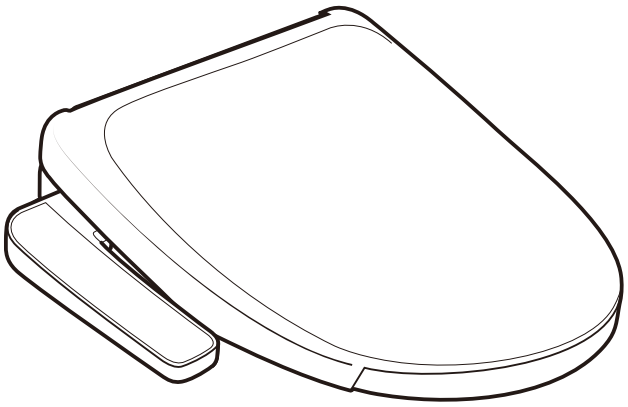
TOSHIBA

東芝温水洗浄便座〈家庭用〉

取扱説明書
施工説明書

形　名

SCS-SCK7020



日本国内専用
Use only in Japan

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

保証書付

ご不明な点は下記にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店
- 東芝ライフスタイル
  ホームページ　お客様サポート
- 東芝生活家電ご相談センター
  受付時間：月～土 **9:00～18:00**　日・祝日 **9:00～17:00**
  ＊当社指定休業日を除く
  フリーダイヤル **0120-1048-76**
  携帯電話など **0570-0570-33**（通話料：有料）

もくじ

安全上のご注意…… 2～4
重大事故防止のためのお願い
定期点検のおすすめ…… 5
お知らせ…… 5
お願い…… 6
各部のなまえ…… 7～8
付属品…… 8

取り付け前の確認…… 9
取り付けかた…… 10～17
漏電検知の点検…… 16

使いかた…… 18～23
メモリー機能…… 19
調節…… 20～21
操作音…… 21
節電…… 22～23
脱臭…… 23

お手入れのしかた…… 24～27

異常報知について…… 27
凍結予防・長期間使わないときの処置のしかた…… 28
故障かな？と思ったら‥ 29
安全にお使いいただくために…… 30
仕様…… 30
保証とアフターサービス…… 31
保証書…… 裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明	
⚠警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
⚠注意	「軽傷を負うことや家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明	
⃠	中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
●	中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。
△	中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

⚠警告

ご使用の前に

アース線を確実に取り付ける

アースを接続する

故障や漏電のときに感電の原因になります。

- ガス管、電話線、避雷針、水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- アース付きコンセントでない場合は、アース（D種接地）工事を電気工事店または販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

据え付け・設置について

水場での使用禁止

●浴室など湿気の多い場所には設置しない
火災・漏電・感電の原因になります。

指示

●設置工事は、説明書に従い確実に行う
水もれ・火災・感電の原因になります。

●設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する
水もれ・火災・感電の原因になります。

●電気工事が必要なときは、専門業者に依頼する
火災・感電の原因になります。

本体や電源プラグ部に洗剤や汚水、水などをかけない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。

給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない

禁止

結露などにより、火災や感電の原因になります。

落雷の可能性がある場合は、電源プラグを抜く

指示

故障の原因になります。

雷が発生しているときは電源プラグに触れない

禁止

感電の原因になります。

本体に強い力や衝撃を与えない

禁止

割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

車両・船舶など、移動体への設置はしない

禁止

火災や感電、故障などの原因になります。
本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

分解・改造・修理をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、使用に際し医師に相談する

指示

身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

※お買い上げの製品とこの説明書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠警告

ご使用のときに

禁止

上水道以外には接続しない

井戸水や中水道、工業用水は使わないでください。ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また、異物などが配管に詰まったり、腐食により水もれや故障の原因になります。

指示

異常・故障時はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める

火災・感電・水もれの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

《異常・故障時の例》

- 配管や本体から水もれする
- 異音・異臭がする
- 本体が異常に熱い
- 本体にひびや割れが入っている
- 本体から発煙　など

指示

長期間使わないときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、本体内の水を抜く

発火・水もれや、水の腐敗による皮膚の炎症などを起こす原因になります。

指示

低温やけどに注意する

便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

次のようなかたが使うときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気を付けてください

お子様／お年寄り／補助を必要とするかた／皮膚感覚の弱いかた／ご自分で温度調節のできないかた／眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた／深酒・疲労の激しいかた　など

電源・電源プラグ・コードは

指示

●電源は、交流 100V 定格 15A以上のコンセントを単独で使う

火災・感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。

●電源プラグの刃や刃の取り付け面のホコリは、定期的に乾いた布でふき取る

絶縁不良による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない

感電の原因になります。

禁止

●電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、重い物をのせない、高温部に近づけない、挟み込まない、加工しない

破損し、火災・感電の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・コードや、ゆるんだコンセントを使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

プラグを抜く

●お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

⚠注意

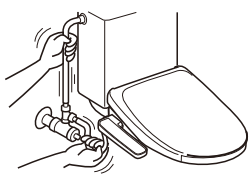
ご使用の前に

据え付け時・本体の着脱時は

禁止

●本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、力を加えたりしない

破損・接続部のゆるみにより、水もれの原因になります。



指示

●水道工事などは、条例に基づき行う

水もれの原因になります。

●持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

便座や便座ふたを持つと本体からはずれ、けがの原因になります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

ご使用のときに

指示

次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がるとき、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれるおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。また、お子様がトイレで遊ばないようにしてください。

凍結のおそれがあるときは（凍結予防）

指示

- **暖房するなど、周囲の温度が氷点下にならないようにする**
- **本体内および本体給水ホースの水を抜く**

  凍結すると配管部などが破損し、水もれの原因になります。

お手入れのときは

指示

- **ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める**（→ 25 ページ）

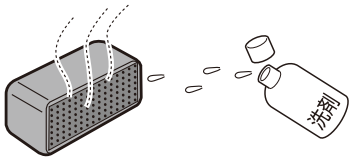
  水もれの原因になります。

禁止

- **酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない**

  プラスチック・金具を傷めます。
- **脱臭フィルターには洗剤や水をかけない**

  洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。



禁止

家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など）では使用しない

故障や発煙・発火などの不具合の原因になります。

使用時・取り扱いについて

禁止

- **便座ふた・便座開閉時に、指などを挟まない**

  けがの原因になります。
- **説明書に記載されている用途以外に使わない**

  火災・感電・けがの原因になります。
- **便座ふたに寄りかからない**

  便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。
- **破損部はさわらない**

  けがの原因になります。
- **脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない**

  指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンでけがをする原因になります。
- **開口部から指や物を入れない**

  感電・けが・故障の原因になります。
- **便座や便座ふたに乗ったり、強い衝撃を与えたりしない**

  転倒したり割れたりして、けがの原因になります。
- **操作パネル部に乗ったり、手をついて座ったり、立ち上がったりしない**

  転倒したり割れたりして、けがの原因になります。
- **トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない**

  火災・変色・故障の原因になります。

指示

漏電検知の作動を確認する（→16ページ）

故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

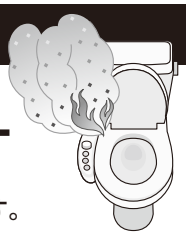
免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- この説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

重大事故防止のためのお願い

日本レストルーム工業会からのお知らせ

重大事故防止のためのお願い



温水洗浄便座は電気製品です

長年のご使用や故障したままのご使用は、電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。

温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

1. 定期的な点検をおすすめします。まずは自分で安全チェックを。
   安心してご使用いただくため、定期的な点検（有料）をおすすめします。
2. リコール製品や故障した製品は使わないでください。
   発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止してください。
3. 長期間お使いの製品は点検と買い替えをご検討ください。
   長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- □ トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- □ 便座がときどき冷たい（節電中は除く）。
- □ 便座が異常に熱いときがある。
- □ お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- □ 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- □ 便座にひびや割れがある。
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- □ 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- □ 製品や便器を伝って水漏れしている。
- □ 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

発行元：一般社団法人 日本レストルーム工業会

https://www.sanitary-net.com/ トイレナビ 検索

詳細はこちらをご覧ください

経済産業省

一般社団法人 リビングアメニティ協会

故障かな？と思ったら（→ 29 ページ）もあわせてお読みください。

お知らせ

- ●脱臭は、約 15 分連続で使うと自動停止します。また、低温やけど防止のため、便座温度は「低」状態となります。続けて使うときは、一度立ち上がって座り直してください。
  脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としています。トイレ全体を脱臭することはできません。
- ●洗浄を 2 分以上続けると、自動停止します。続けて使うときは、もう一度「おしり」または「ビデ」ボタンを押してください。
- ●冬季など水温が低い場合は、「おしり」または「ビデ」ボタンを押してから洗浄水が出るまでの時間が長くなったり、水勢がいつもと同じにならない（強くならない / 弱くならない）と感じたりすることがありますが、故障ではありません。
- ●ノズル付近から少量の水が出ることがあります。本体内部の残水が出るもので、異常ではありません。
- ●停止時に連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。
- ●出荷前に通水検査を行うため、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

お願い

据え付け・施工、設置場所について

●**給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回さないでください**
回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。
(→ 13 ページ)

●**取付ボルトセットやホースのナットを締めるときは、必ず付属のスパナで締めてください。大きなスパナなどを使用すると部品が破損し、水もれなどの原因になります**

●**本体の取り付け後は、水もれがないことを確認するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください**

●**電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、製品を立てたり、傾けたり、上下ひっくり返したりしないでください。**
空焚きにより、温度ヒューズが切れて電源が入らなくなるおそれがあります。

●**寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事や、その他の配管工事が必要なときは、専門業者に依頼してください**
専門的な工事が必要です。
なお、使わない給水管は保管しておいてください。

●**本体を便器に着脱するときは、給水ホースなどに無理な力を加えないでください**

●**直射日光を当てないでください**
樹脂部が変色・劣化する原因になります。

●**電源コードの長さは約 1m です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください**

お手入れについて

●**本体表面のよごれは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってからふいてください**
ひどいよごれは、適量に薄めた中性洗剤を布に含ませてふき洗いし、水ぶきして洗剤分をふき取ってください。
消毒などには、適量に薄めた逆性石けんを布に含ませてふき洗いし、水ぶきして液をふき取ってください。

●**脱臭フィルターの黒粉が手に付いたときは、すぐに洗ってください**
皮膚や目などに炎症を起こすおそれがあります。

●**便器洗い用のトイレ洗剤を、温水洗浄便座に付けないでください**
温水洗浄便座を傷めます。
揮発性ガスによって温水洗浄便座を傷めることがありますので、便器内を洗剤で掃除する場合は、便座ふた・便座を開けたままにして短時間でお手入れしてください。
(便器内の洗剤はすぐに流してください)

使用時・取り扱いについて

●**本体がガタついたまま使用しないでください**
転倒したり、割れてけがをする原因になります。

●**便座・便座ふたを乱暴に開閉しないでください**
割れたり、故障したりする原因になります。

●**着座するときはゆっくり腰をおろしてください**
破損の原因になります。

●**ノズルなどによごれを付けないでください**
においの発生や故障の原因になります。

●**操作パネルのボタンを、必要以上に強く押さないでください**
故障の原因になります。

●**男性の小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください**
故障の原因になります。

●**市販の便座カバーやふたカバーは、購入前にサイズをご確認ください**
サイズが合わずに破損するものがあります。
また、便座ふたにカバーなどを付けて開閉に支障があるときは、カバーをはずしてください

●**ラジオなどは本体から離して使ってください**
ラジオに雑音が入ることがあります。

●**便座の上に幼児用補助便座、やわらか補助便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずしてください**
一部の機能が使用できなくなることがあります。

●**製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください**

●**便座・便座ふたの上にものを置かない、手で押さえないでください**
着座スイッチが入り、ボタンに触れたときノズルから温水が出て、床などをぬらす原因になります。
(便座･便座ふたに力が加わると着座スイッチが入ります。)

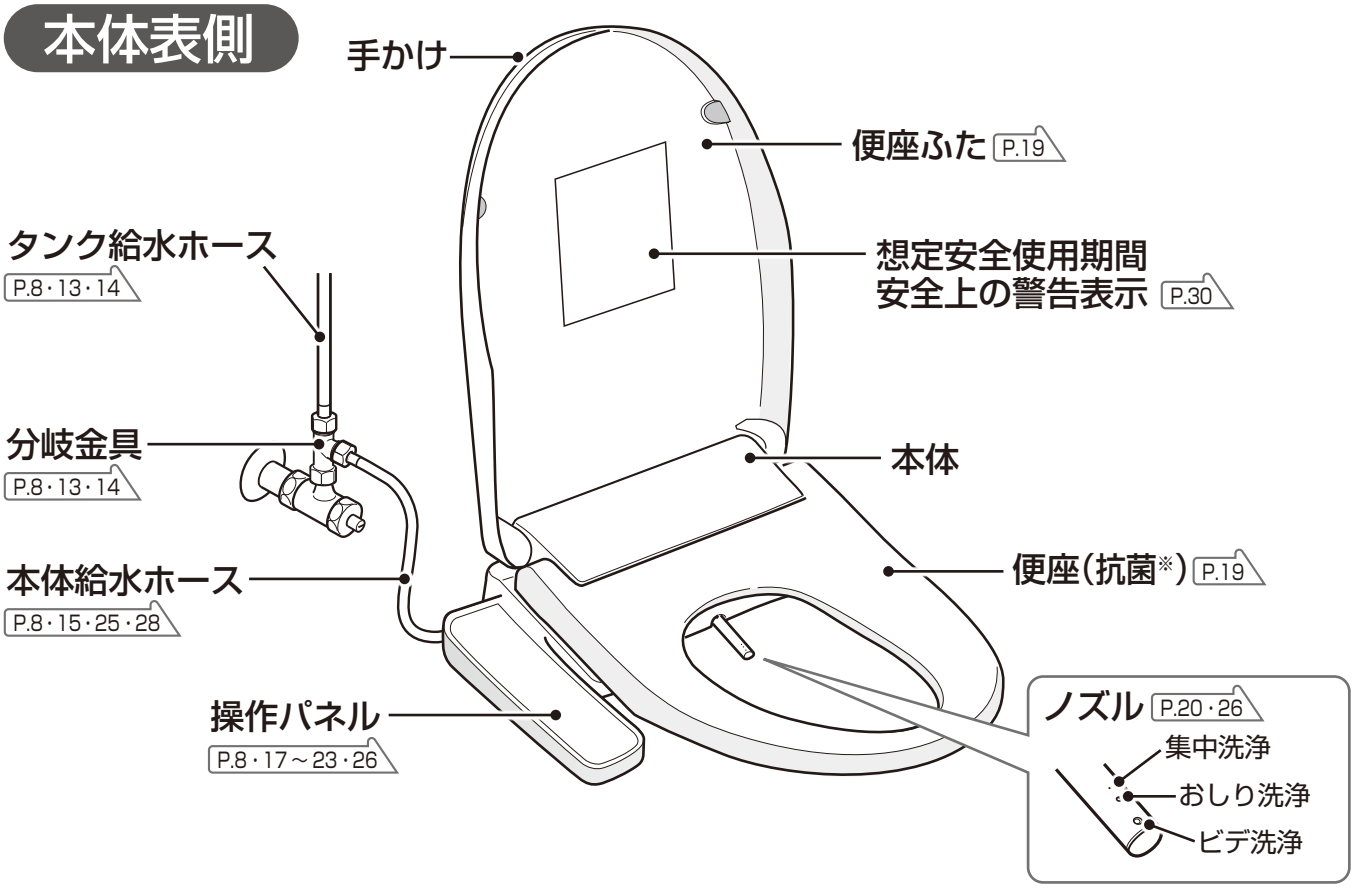
脱臭フィルターの廃棄について

●**不要になった脱臭フィルターは、各自治体の指示に従って廃棄してください**

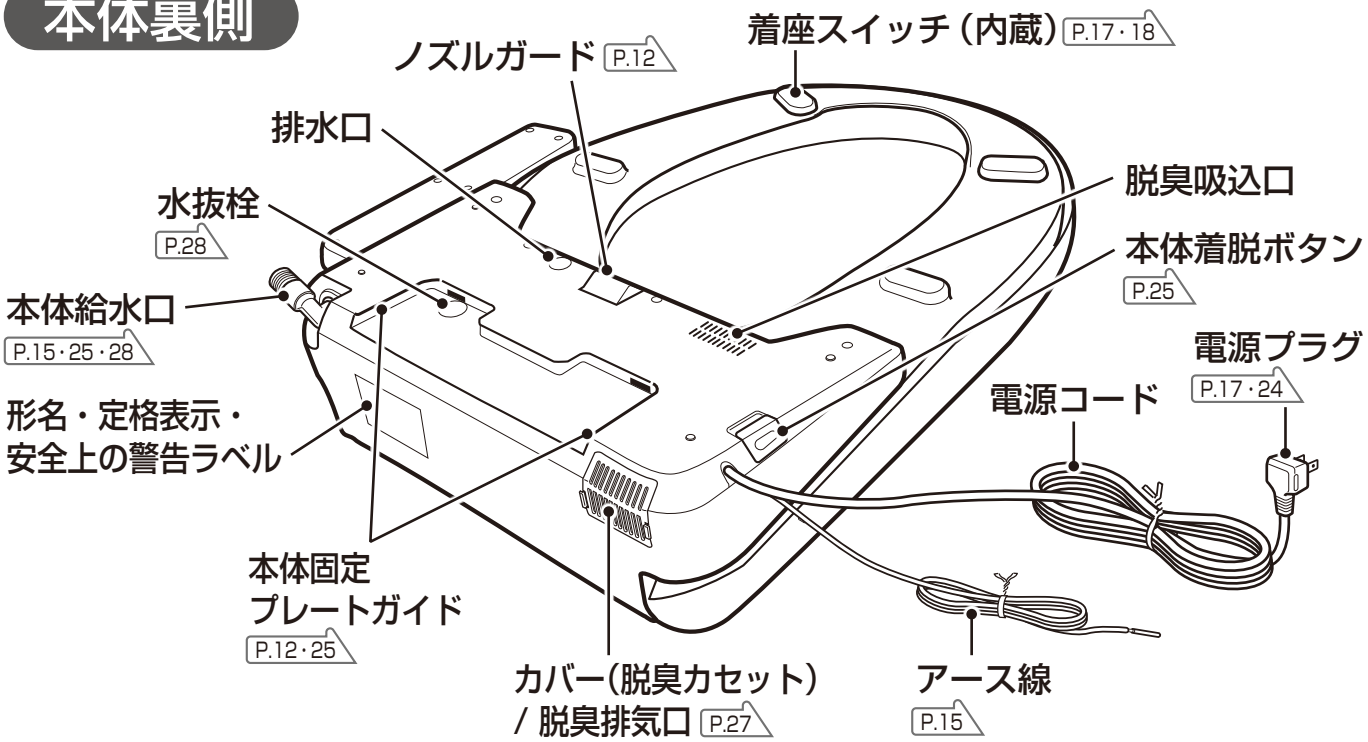
各部のなまえ

このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

本体表側



本体裏側

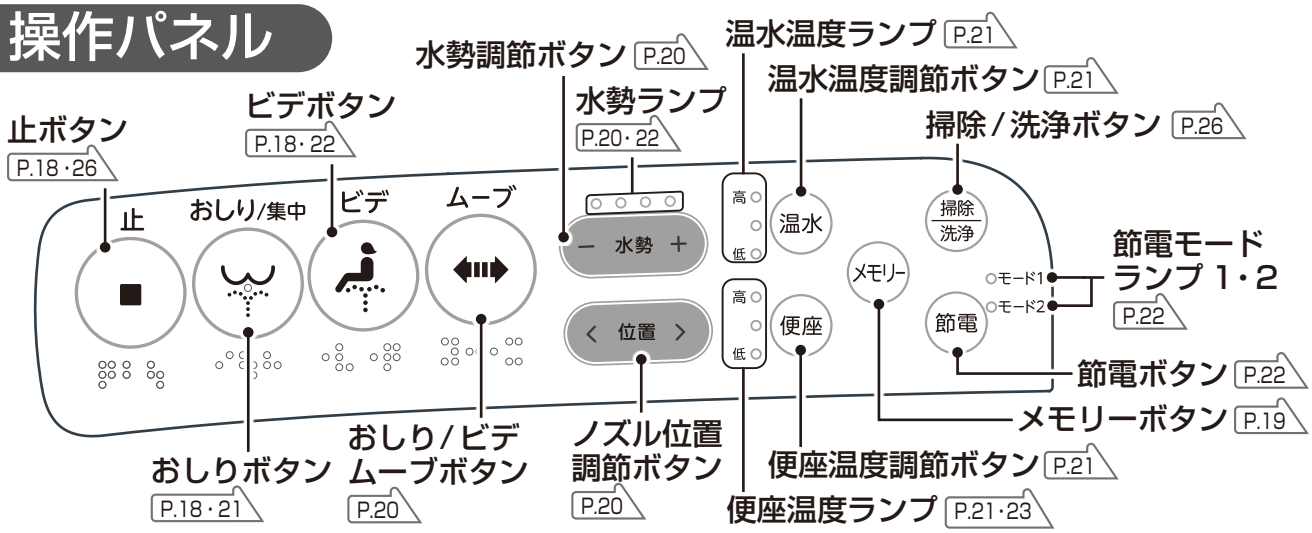


※抗菌加工部位：便座 試験機関　：石塚硝子（株）抗菌試験所 試験方法　：フィルム密着法　JIS Z 2801 抗菌方法　：抗菌剤を樹脂に練り込み	試験結果：24 時間後 99% 以上抑制 上記試験は 2 種類のみの菌で実施 試験番号：第 90-004-1 号

（つづく）

各部のなまえ（つづき）

操作パネル



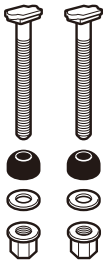
●「止」「おしり」「ビデ」「ムーブ」ボタンに点字を設けています。
●この取扱説明書でのランプの表しかた

● ：点灯　○ ：消灯　⋟●⋞ ：点滅

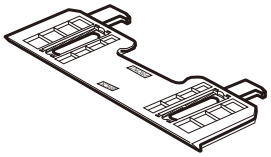
●操作音について（本体から音がします）
「ピッ」…… 各ボタンを押したとき
「ピッピッ」… 操作を受け付けないとき（脱臭運転を解除したときやブザー音が鳴らない設定にしたとき）

付属品

本体取り付け時に必要なもの



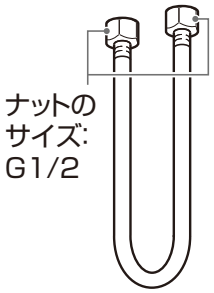
（取付ボルトに半丸パッキン・ワッシャー・ナットが付いた状態になっています）
取付ボルトセット　1 セット



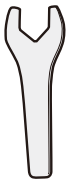
本体固定プレート
1 枚



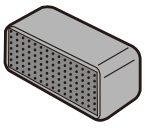
タンク給水ホース
約 0.5m *1
1 本



本体給水ホース
約 1m *2
1 本



スパナ　1 個



※本体に装着済

脱臭フィルター　1 個
（消耗部品）



分岐金具　1 個
※ストレーナーパッキンがはずれている場合は装着してください。
（水もれの原因になります）



クッション　1 個
（取付説明書付）

＊1 ロータンクと止水栓の間が離れていて付属のタンク給水ホース（約 0.5m）で足りない場合は、別売の給水ホース（約 1.5m、約 2m）をお求めください。
＊2 製品本体と止水栓の間が離れていて付属の本体給水ホース（約 1m）で足りない場合は、別売の給水ホース（約 1.5m、約 2m）をお求めください。

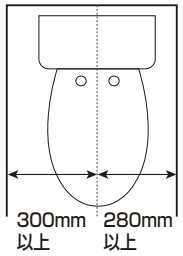
お願い
●本体給水ホースとタンク給水ホースを接続するときは、間違えないように注意してください。
●付属品のご購入は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターへお問い合わせください。

取り付け前の確認

温水洗浄便座の取り付け作業前に、以下の内容をご確認ください。
付属品以外の別売部品が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け場所の寸法の確認

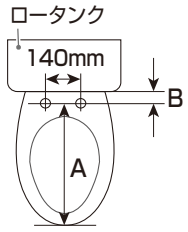
トイレの広さ



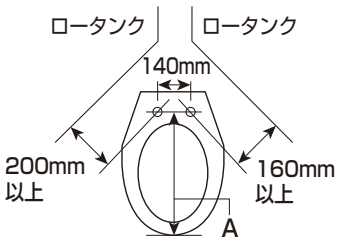
便器のサイズ・タンクと取付穴の位置

使用できる便器サイズ	B寸法
レギュラーサイズ（A寸法 440mm）	65mm 以上
エロンゲートサイズ（A寸法 470mm）	50mm 以上

《ロータンク式》

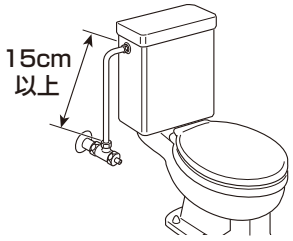


《隅付ロータンク式》



- 便器によって、便座の内側から便器のふちが見える場合がありますが、使用に問題ありません。（便座の先端が便器の先端より多少出っ張ります）
- ロータンクの形状によっては、便座ふたを開くとロータンクに当たる場合がありますが、最後まで開かなくても自立しますので、使用に問題ありません。便座ふたがロータンクに当たる場合は、付属のクッションをロータンクに貼り付けてください。（→12ページ）
- 便座ふた・便座が自立しない場合は、本体固定プレートの位置を手前側に調整してください。

止水栓とロータンクの間の寸法



止水栓とロータンクの入り口が近接していると、給水ホースの引き回しが困難になる場合があります。
止水栓とロータンクの入り口が直線で 15cm 以上であれば、給水ホースの引き回しのスペースが取れ、取り付けできます。

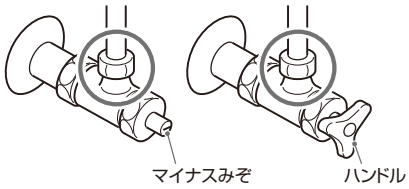
アース端子の有無の確認

あ　る → 接続できます

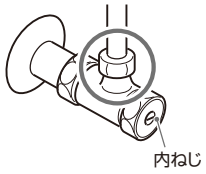
な　い → アース工事を電気工事店または販売店にご相談ください

止水栓などの種類の確認

■一般の止水栓



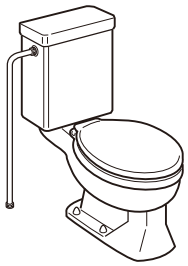
■内ねじ止水栓



○部の分岐金具取付部のねじサイズが G1/2 であれば、付属品の分岐金具で取り付けられます

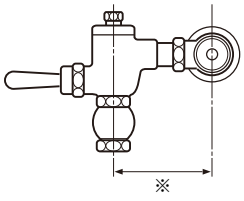
ねじサイズが合わない場合はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください

■寒冷地用給水管
（止水栓なし）



●付属品の分岐金具のほかに、給水管（市販品　P.14 参照）が必要です。

■フラッシュバルブ式

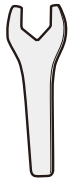


●付属品の分岐金具のほかに、フラッシュバルブアダプター（市販品）が必要です。
※の寸法をご確認の上、フラッシュバルブアダプターを選定してください。

専門的な工事が必要です
専門業者に工事をご依頼ください

取り付けかた

取り付け作業に必要なもの



スパナ
（付属品）

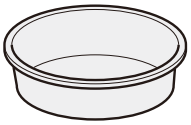


モンキー
レンチ



マイナス
ドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの



広口容器



ぞうきん

●スパナ（付属品）は、お手入れするときなど取り付けた後でも使うことがありますので捨てずに保管してください。

お願い

●電源プラグは、温水洗浄便座を便器に取り付け、配管接続部などに水もれがないか点検するまでは絶対にコンセントに差さないでください。
以下の取り付け・確認の流れに従ってください。

■取り付け・確認の流れ

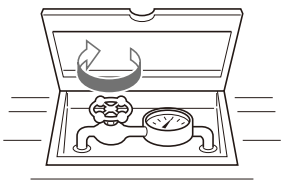
準備する——水道の元栓を閉める
↓
元の便座を取りはずす
↓
温水洗浄便座を便器に取り付ける
↓
温水洗浄便座と便器の取り付けを確認する
↓
分岐金具・タンク給水ホースを取り付けるため給水管をはずす
↓
分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける（止水栓とロータンクの間の配管）
↓
本体給水ホースを取り付ける（止水栓と本体の間の配管）
↓
アース線を取り付ける——水道の元栓を開ける
↓
水もれがないか点検する
↓
電源プラグを差し込み、漏電検知の点検と温水洗浄便座の動作を確認する

取り付けの手順

準備する

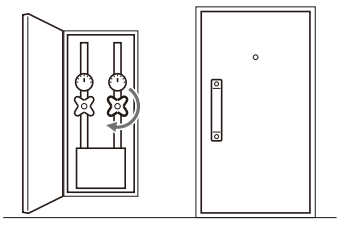
水道の元栓を閉める

●水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



戸建住宅

集合住宅



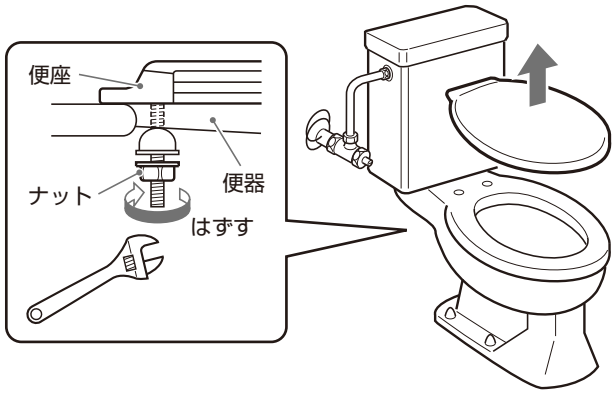
お願い

●元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

元の便座を取りはずす

ナットをモンキーレンチでゆるめ、便座を取りはずす

●取りはずした便座ふた・便座・ナットなどは保管しておいてください。
引越しなどで必要になることがあります。



温水洗浄便座を取り付ける

1 取付ボルトから半丸パッキン・ワッシャー・ナットを回してはずす

2 本体固定プレートの「BACK」「FRONT」の文字のある面を上に向け、取付ボルトを本体固定プレートの穴に差し込む

3 取付ボルトを「BACK」側に寄せ、便器の取付穴に差し込む

4 本体固定プレートからロータンクまでの距離（A）を確認する

・2cm を超える場合 → 手順５に進む
・2cm → 手順６に進む

5 本体固定プレートの位置を決める

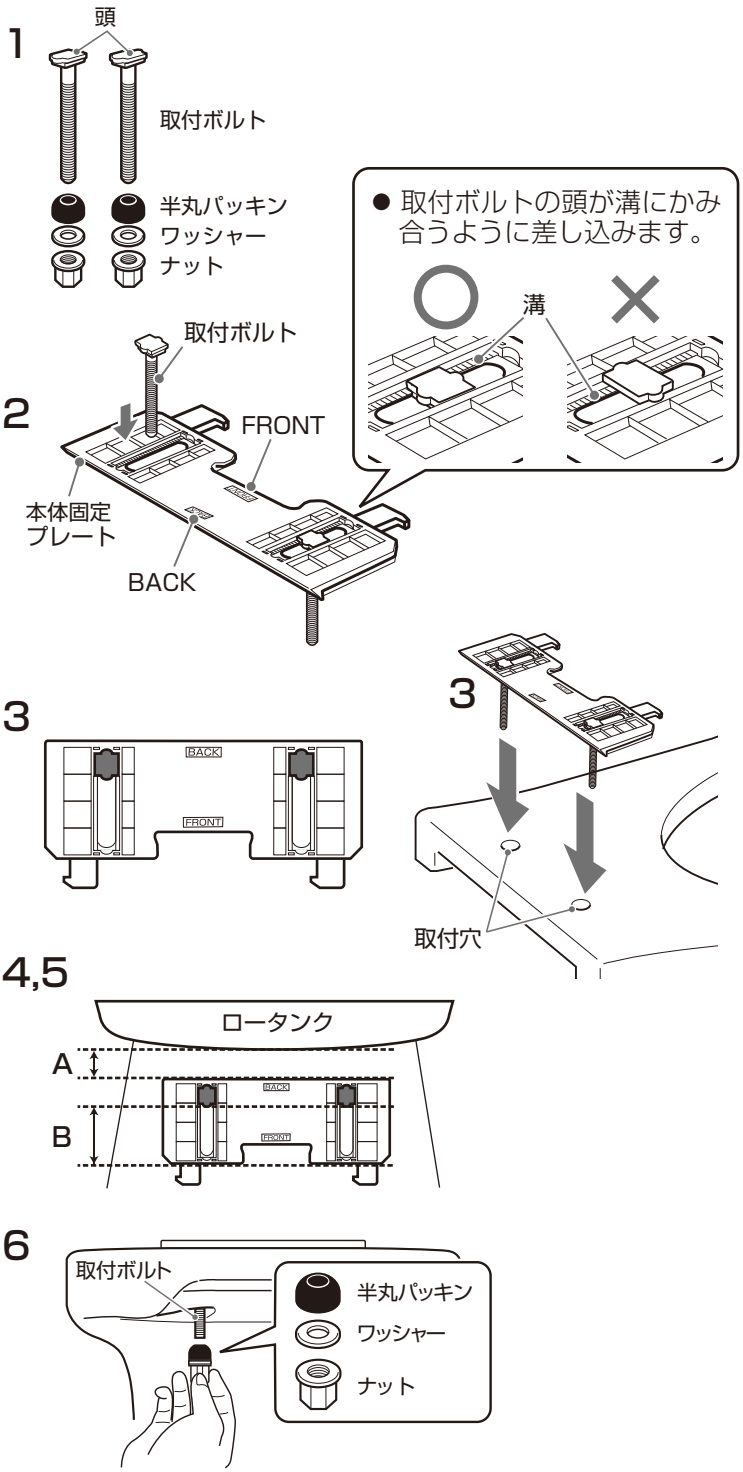
本体固定プレートを奥側にずらして、取付ボルトから本体固定プレートの前端までの距離（B）を下記のようにすると、温水洗浄便座を取り付けたときに便器の先端が合いやすくなります。

便器のサイズ	B の距離
レギュラーサイズ	約１cm
エロンゲートサイズ	約４cm

（便器サイズの確認→９ページ）

・ただし、右図の A の距離は、2㎝未満にならないように注意してください。

6 半丸パッキン・ワッシャー・ナットを取付ボルトにねじ込み、手で締め付ける

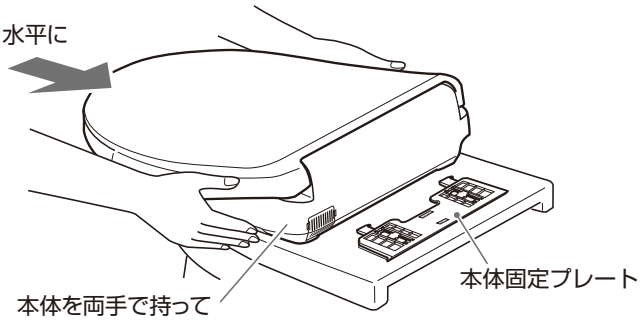


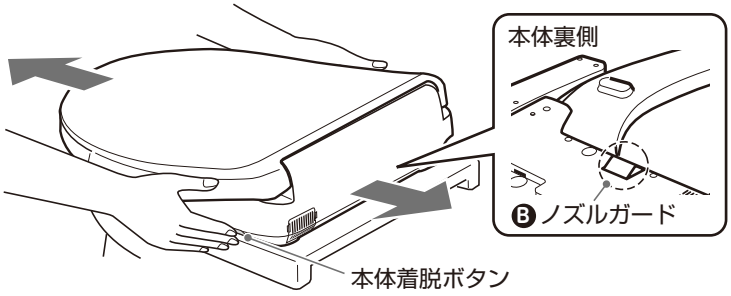
●半丸パッキンは、半丸側を便器側にしてください。

取り付けかた（つづき）

7 温水洗浄便座を本体固定プレートに取り付ける

本体固定プレートガイド（→ 7 ページ）と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで**水平に**押し込んでください。本体固定プレートに当たるときは、本体を**水平に**少し浮かせ、本体固定プレートガイドに合わせてください。





8 温水洗浄便座の位置を調整する

便器の先端（中心）に、便座の先端（中心）を合わせるようにして、次の点を確認して調整します。

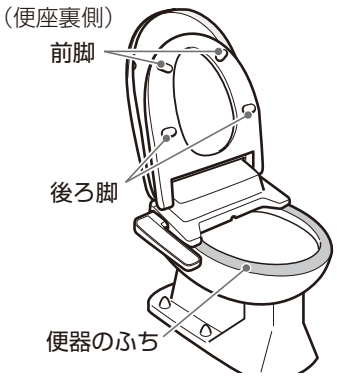
Ⓐ便座裏側の前脚の中心が便器のふちに載ること
前脚が便器から落ちていたり、少ししか載っていないと着座スイッチが入らないことがあります。

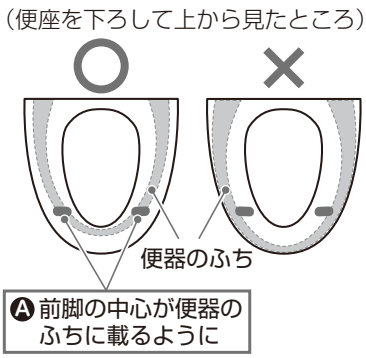
Ⓑノズルガードが便器にかかっていないこと

Ⓒ本体背面とロータンクの間は2cm以上あいていること

Ⓓ便座ふた・便座を開けたときに手前に倒れてこないこと

- うまく合わない場合は、本体をはずしナットをゆるめて本体固定プレートの位置を調整してください。
（本体をはずすときは、本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出してください。→ 25 ページ）



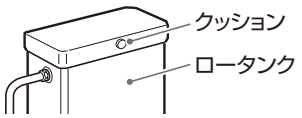


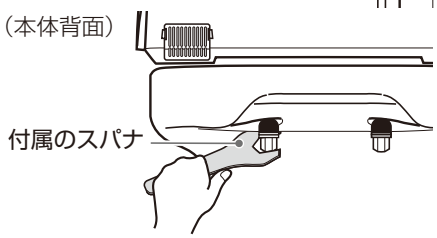
お知らせ

- **便器のサイズによっては、便座の先端が便器の先端から数cm出ることがありますが、正常にお使いいただけます。**
- ロータンクの形状によっては、便座ふたを開くとロータンクに当たる場合がありますが、最後まで開かなくても自立しますので、使用に問題ありません。

便座ふたがロータンクに当たる場合

強く当たる場合は、付属のクッション（→ 8 ページ）をロータンクに貼り付けてください。





9 ナットを回して締め付ける

- 最後は付属のスパナでナットを締め付けてください。（強く締めすぎると破損することがあります）

お願い

- 長年使用すると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。そのときは、ナットを締め付け直してください。



10 便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認する

- 本体が便器から着脱できる構造のため、多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。
- 便座が上下する構造のため、便座と便器の間にすき間を設けています。（→ 18 ページ）

分岐金具・タンク給水ホースを取り付けるため

給水管をはずす

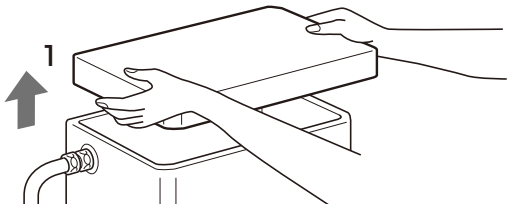
1 ロータンクの上ぶたをはずす

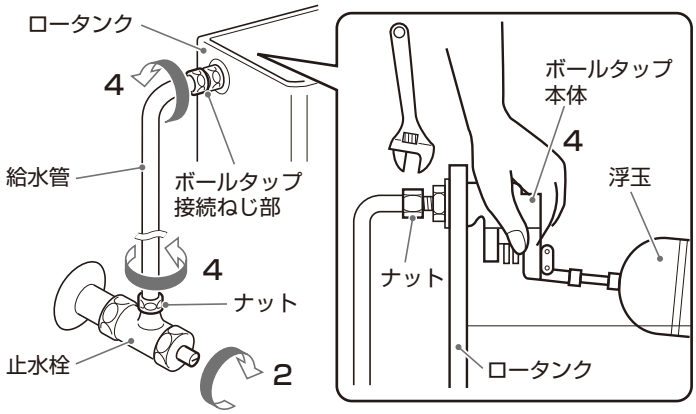
2 マイナスドライバーなどで止水栓を閉める

3 タンク内の水を流し、水が給水されないことを確認する

4 ナットを回して、止水栓およびロータンクから給水管をはずす

- ボールタップ本体根元部をしっかりと握り、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにしてください。





- 取りはずした配管やその他の接続部などは保管しておいてください。引越しなどで必要になることがあります。

分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける
（止水栓とロータンクの間の配管）

1 分岐金具を止水栓に取り付ける

- 取り付ける前に分岐金具のナット部にストレーナーパッキンが装着されていることを確認してください。(→8ページ)
- ナットを回して取り付けます。

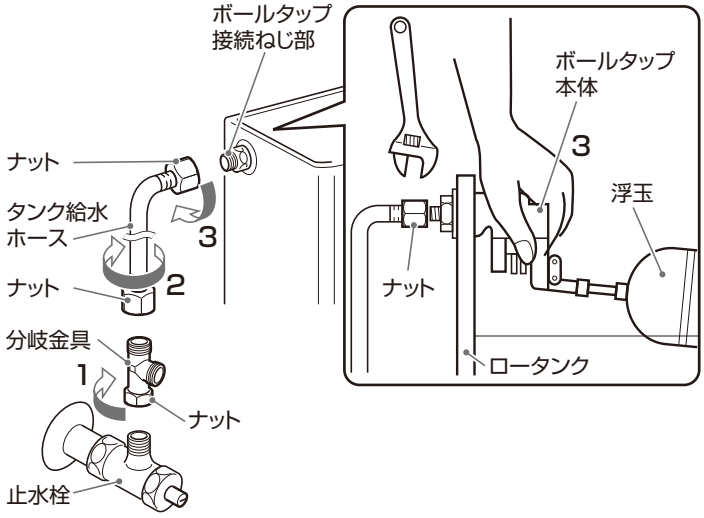
2 タンク給水ホースを分岐金具に取り付ける

- ナットを回して取り付けます。

3 タンク給水ホースをロータンクに取り付ける

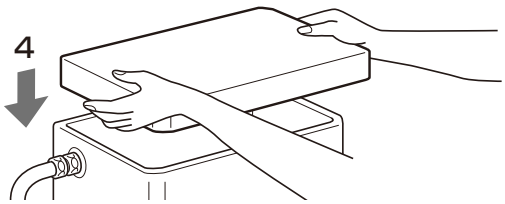
- ナットを回して取り付けます。
- タンク給水ホースがねじれないように手で押さえながら、モンキーレンチでナットを締めます。
- ボールタップ本体根元部をしっかりと握り、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにしてください。

4 ロータンクの上ぶたを元に戻す



お願い

- ナットを取り付けるとき、ボールタップ接続ねじ部が回って浮玉がタンク側壁と干渉すると、ロータンク内に水が入らなくなることがあります。このときは、元の位置にボールタップを戻してください。



（つづく）

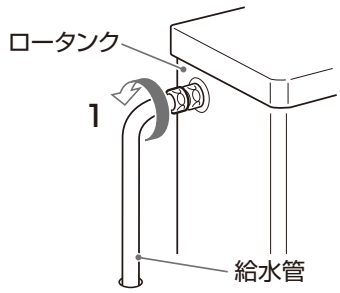
取り付けかた（つづき）

専門的な工事が必要な取り付け

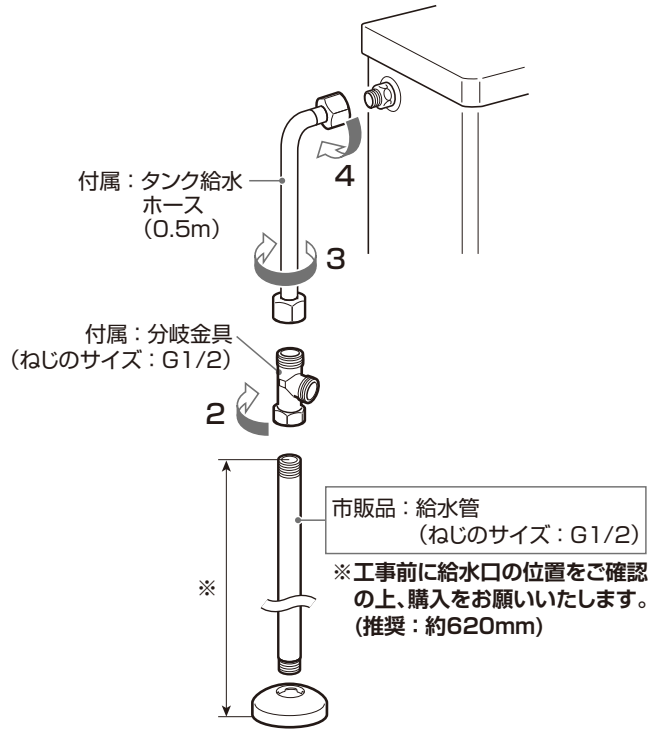
寒冷地用給水管（止水栓なし）・フラッシュバルブの配管工事（給水管をはずす→分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける）が必要な場合は、専門業者へ依頼してください。

寒冷地用給水管（止水栓なし）の場合

1 給水管を取りはずす



2 市販の給水管に分岐金具を取り付ける

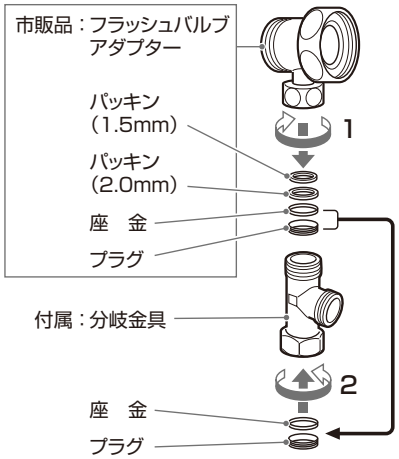


3 分岐金具にタンク給水ホースを取り付ける（→ 13 ページ）

4 ロータンクにタンク給水ホースを取り付ける（→ 13 ページ）

フラッシュバルブ式の場合

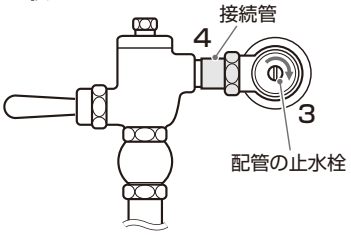
1 フラッシュバルブアダプター (市販品) からプラグなどを取りはずす



2 分岐金具に 1 で取りはずしたプラグと座金を取り付ける

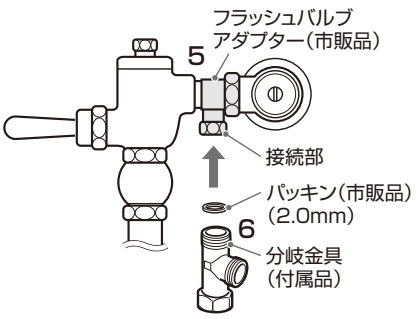
3 マイナスドライバーなどで止水栓を止める

4 接続管を取りはずす



5 フラッシュバルブアダプターを取り付ける（接続部が下になるようにする）

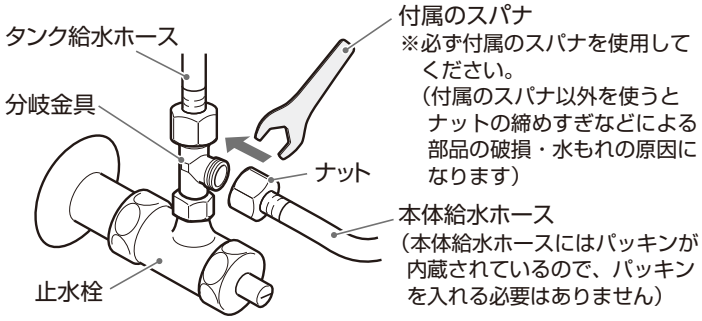
6 分岐金具を取り付ける



本体給水ホースを取り付ける
（止水栓と本体の間の配管）

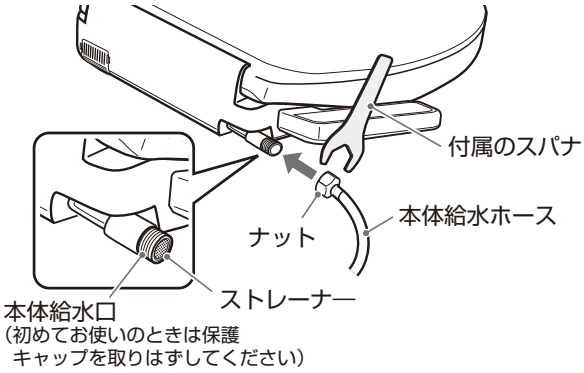
1 止水栓に接続した分岐金具に本体給水ホース（約1m）のナットを手で回して取り付け、付属のスパナでナットを締める

- ナットを締めるときは、**必ず付属のスパナを使用してください。**大きなスパナなどを使用すると、部品が破損し水もれなどの原因になります。

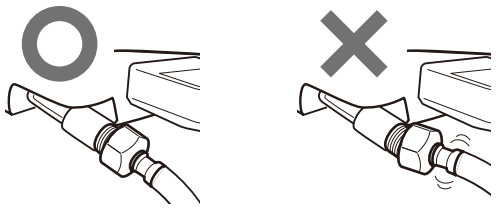


2 本体給水口の奥にストレーナーが付いていることを確認し、本体に本体給水ホース（約1m）のナットをまっすぐ手で押し付けながら回して取り付ける

- ナットが確実に取り付けられているか確認してください。ナットと本体給水口が正しくかみ合っていないと 水もれの原因になります。
- ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。



3 本体給水ホースがねじれないように手で押さえながら、付属のスパナでナットを締める



- 本体給水口を下方向に向けることができます。

まだ電源プラグは差し込まないでください
電源プラグは、水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。

アース線を取り付ける

⚠ 警告

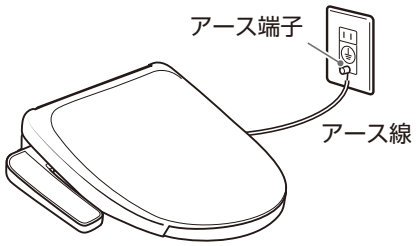
アースを接続する

アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電の原因になります。
- ガス管・電話線・避雷針・水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- アース付きコンセントでない場合は、アース（D種接地）工事を電気工事店または販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

アース線をアース端子に確実に接続する

- アースを取り付けるときは、電源プラグを抜いてください。
- 設置場所の変更や転居のときも、アース線の取り付けをしてください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。



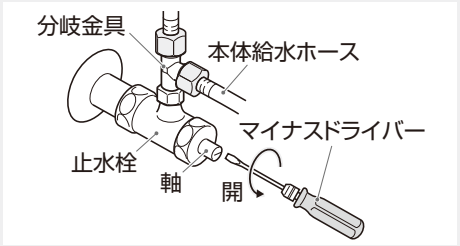
取り付けかた（つづき）

配管接続部などに水もれがないか点検する（月１回）

1 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する
- ゆるみがあるときは、付属のスパナでしっかり締めてください。

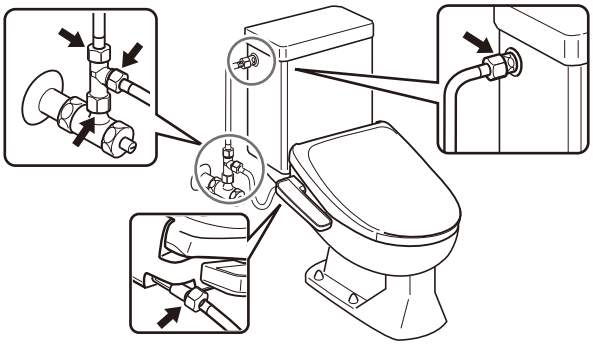
2 水道の元栓を開く

3 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する



4 時間の経過とともに水もれすることがあるので、据付工事後、数日間は広口容器を設置しておく

➡：各接続部／水もれ点検箇所



水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める

2. 水もれのある接続部をはずし、もう一度取り付ける
- 分岐金具のナット部からもれる場合は、ストレーナーパッキンが装着されているか確認してください。（→８ページ）

お願い
- 水もれが直らないときは、水道の元栓を閉め、水道工事店にご連絡ください。
- ナットから水もれしていないか、**定期的（月１回）**に確認をしてください。

漏電検知の点検をする（月1～2回）

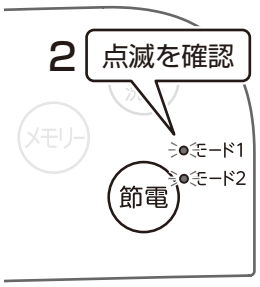
本体内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています（漏電が起こった場合は、「節電モードランプ 1･2」が点滅します）。漏電による感電を防止するため点検を行ってください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む
（→17ページ　手順1参照）

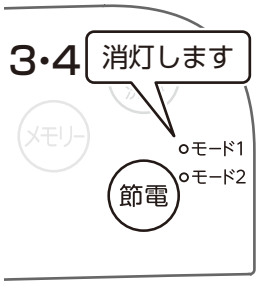
2 ムーブ ⇔ と 温水 ボタンを同時に約3秒間押す ピッ
「節電モードランプ 1･2」が点滅します。

3 電源プラグを抜く
「節電モードランプ 1･2」が消灯します。

4 電源プラグをコンセントに差し込む
（→17ページ　手順1参照）
初期動作終了後、「節電モードランプ 1･2」は消灯します。



点滅しない場合は、漏電検知の不具合が考えられます。
すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。



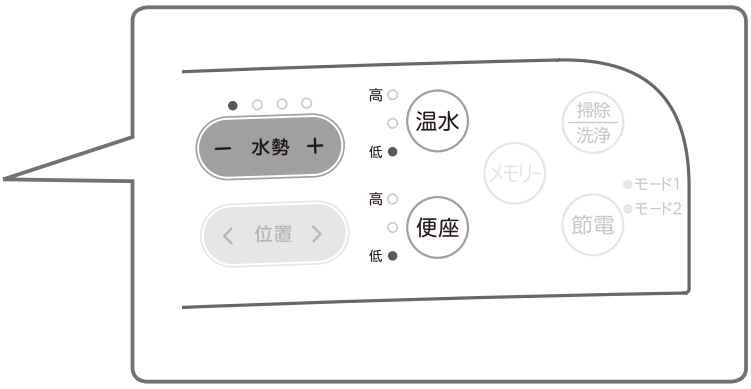
お願い
- 手順2～4を**定期的(月１～2回)**に行ってください。

動作確認の手順

取り付けが終わったら、以下の手順で動作を確認してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ノズル伸縮（1 回）、本体内部のタンク水位確認（給水→排水→再給水）の初期動作をします。排水はノズル根元付近から便器内に落ちます。
- 操作パネルのすべてのランプが点滅し（約 30 秒間）、初期動作が終わると水勢・温水温度・便座温度ランプの点灯に変わります。脱臭運転する設定になっています。



2 漏電検知の点検をする

（→１６ページ　手順２～４参照）

3 便座ふたを開けて、便座が温まるのを確認する

（温まるまで約７～９分*かかります）

4 便座（着座スイッチ）を手で押して、着座スイッチが機能するか確認する

ピッ

- 着座スイッチを押すと着座を検知し、「ピッ」と音がして脱臭ファンが動き始めます。
- 「ピッ」と音がしない場合は、便座裏側の前脚の中心が便器のふちに載るようにしてください。（→ 12 ページ）

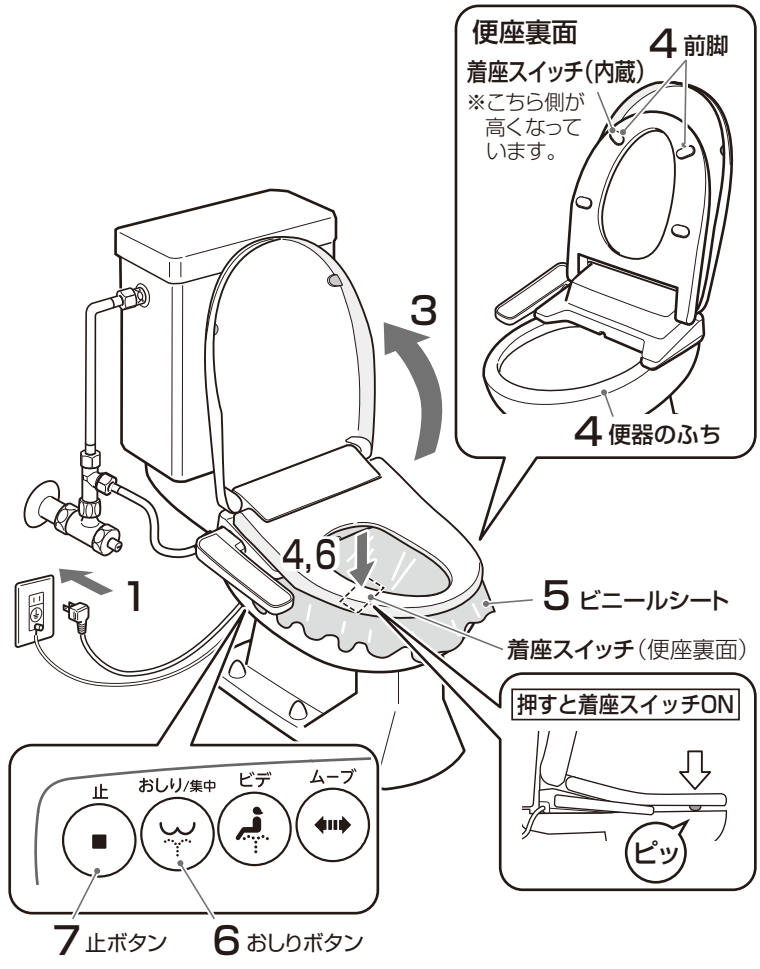
5 便座と便器の間にビニールシートなどを挟む

6 便座（着座スイッチ）を押しながら、「おしり」ボタンを押す

- 洗浄水が出るまで着座スイッチを押し続けてください。
- はじめに自動でノズルを洗浄した後、洗浄水が出ます。（ノズル洗浄中は便器内に水が流れ落ちます）
- 便座（着座スイッチ）を押す手を離して、着座スイッチが OFF になると洗浄水が止まります。

7 洗浄水（温水）が出るのを確認したら、「止」ボタンを押す

- 洗浄水が止まり、自動でノズルの洗浄をします。ノズル出口付近でノズルが３回伸縮し、本体に収納されます。



＊周囲温度などにより時間は異なります。

使いかた

⚠ 注意

指示

次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がるとき、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれるおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。また、お子様がトイレで遊ばないようにしてください。

おしり / ビデ洗浄についてお願い

- 長時間の洗浄や洗いすぎにご注意ください。また、局部内は洗わないでください。常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスを崩してしまう可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けているかたは、使用について医師の指示に従ってください。

お知らせ

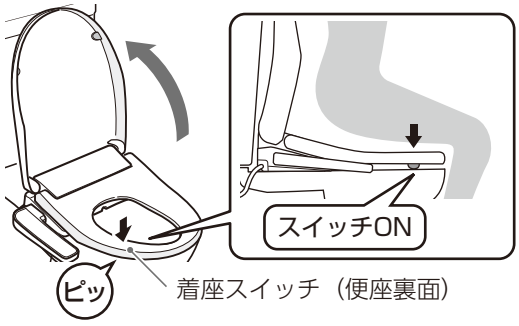
- 水勢･温水温度･便座温度の調節と脱臭･節電の設定、「掃除 / 洗浄」ボタンは、便座ふたを閉じた状態でも操作できます（ノズルを掃除するときは、便座ふたと便座を開けて行ってください）。それ以外の操作は便座ふたを開け、便座に座らないと動作しません。

1 便座ふたを開けて、便座に座る（ピッ）

- 着座スイッチが入ると「ピッ」と鳴り、洗浄操作が可能になります。
- 脱臭が始まります。（脱臭ファン動作音がします）

着座スイッチについて

- 便座に座ると着座スイッチが入り、各機能が使えます。
- 便座の中央部に腰かけてください。便座の片側（着座スイッチのない側）に座ると着座スイッチが入らない場合があります。
- お子様など体重が軽いかたは、着座スイッチが入りにくい場合があります。
- 便座が上下する構造のため、便座と便器の間にすき間を設けています。



2 おしり/集中 または ビデ ボタンを押す（ピッ）

お願い

- 操作パネルのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

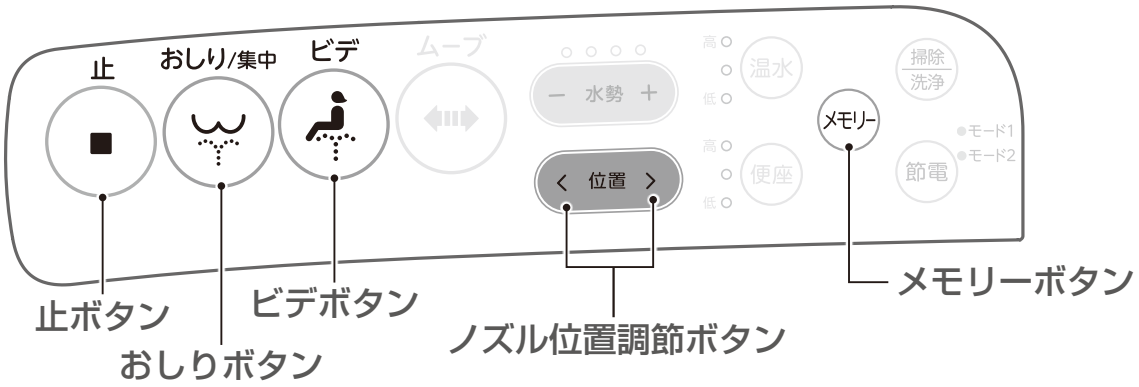
- はじめに自動でノズルを洗浄した後、おしり洗浄またはビデ洗浄を始めます。
  （ノズル洗浄中は便器内に水が流れ落ちます）
- ノズル位置は、お好みに合わせて「ノズル位置調節」ボタンで調節できます。（→ 20 ページ）
- 連続して約 2 分使用すると、洗浄が止まります。続けて使う場合は、再度同じボタンを押してください。

「ピッピッ」と鳴って、洗浄水が出ない場合

- 着座スイッチが入っていないため、「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても洗浄水が出ません。座り直して、「ピッ」と鳴ることを確認してから洗浄してください。

3 止 ボタンを押し（ピッ）、洗浄を停止する

- おしり洗浄またはビデ洗浄停止後、自動でノズルの洗浄をします。ノズル出口付近でノズルが 3 回伸縮します。
- 「止」ボタンを押した直後は「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合がありますが、しばらくすると開始します。



4 立ち上がる

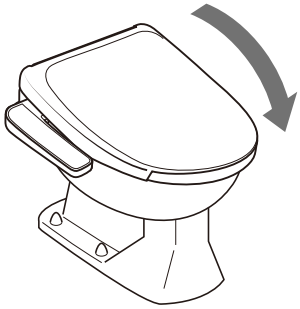
●着座スイッチが切れ、洗浄操作ができなくなります。 脱臭は、約 1 分後に自動停止します。

お知らせ

●洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。
●連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターへお問い合わせください。

5 便座ふたを閉じる

●便座ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。
破損の原因になるため、便座ふた・便座は無理な力を加えないでください。



お願い

●水道水の温度が低い場合は製品内部の凍結を予防するため、約 1 時間ごとに自動で製品内部の水を便器内に排出します。凍結のおそれがある場合は 28 ページの凍結予防処置をしてください。

メモリー機能　お好みのノズル位置や水勢などを記憶させることができます

おしり洗浄またはビデ洗浄、ノズル位置、水勢、ムーブ洗浄、集中洗浄、温水温度を記憶します。
●便座温度は記憶しません。

メモリーのしかた

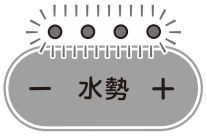
お好みの設定（→20,21 ページ）**でおしり洗浄または ビデ洗浄を使用中に** メモリー **ボタンを押す** ピッ

➡ **使用中の設定を記憶します。**

●メモリーした後、「止」ボタンを押し洗浄を停止します。

〈設定を記憶したとき〉

水勢ランプが約 3 秒間点滅します。



メモリーした設定で使うときは

便座に座り、 メモリー **ボタンを押す** ピッ

➡ **メモリーした設定で洗浄が始まります。**

●「止」ボタンを押すと洗浄が止まります。

メモリー設定を変更したいときは

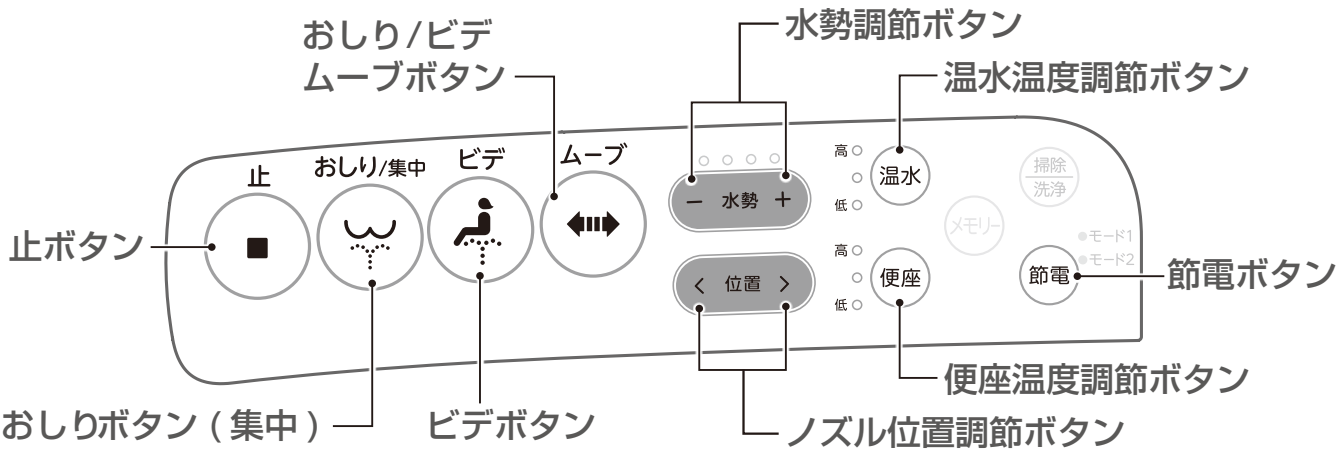
洗浄使用中、洗浄設定を変更して メモリー **ボタンを押す** ピッ

（→メモリーのしかた）

お知らせ

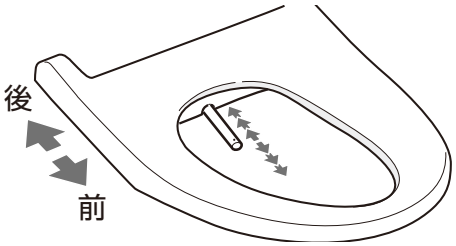
●洗浄使用中に「メモリー」ボタンを押してもメモリー設定した洗浄にはなりません（メモリーの変更になります）。
●洗浄停止直後は、「メモリー」ボタンを押してもすぐに洗浄を開始しない場合がありますが、しばらくすると開始します。
●停電があった場合や電源プラグをコンセントから抜くと、メモリーはリセットされます。通電開始後、「メモリー」ボタンを押すと、おしり洗浄・水勢「1」・ノズル位置（中央）・温水温度「低」で洗浄を開始します。

使いかた（つづき）



ノズル位置の調節

おしり洗浄またはビデ洗浄中に
位置 ＜（前） ＞（後） ボタンを押す（ピッ）



●初期は中央の位置で、前後に 3 段階ずつ調節できます。

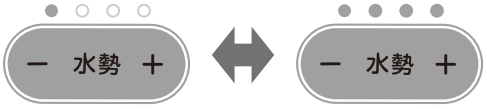
お知らせ
●ノズル位置の設定は通常の使用では記憶されません。次に使用するときは、初期のノズル位置（中央）で洗浄を開始するため、再度調節が必要になります。（記憶させたいときは、→ 19 ページ「メモリー機能」参照）

水勢の調節

水勢 －（弱） ＋（強） ボタンを押す（ピッ）

弱 ◀――――▶ 強

1 2 3 4　　5（全点灯）

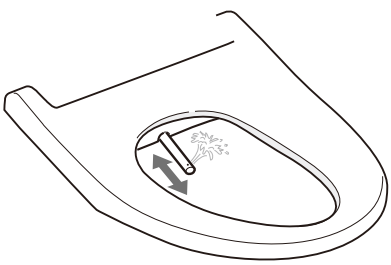


●5 段階で調節できます。
●洗浄時以外でも調節できます。
●水勢の強さ設定は直前に設定した強さが記憶されています。
●水道水圧が低いところでは、水勢の調節を「1」または「2」にすると洗浄水が出ないことがあります。
このようなときは、水勢の調節を「5」にしてください。

ボタンを押すごとにランプの点灯が切り替わり、水勢が変わります。

ムーブ洗浄

おしり洗浄またはビデ洗浄中に（ムーブ） ボタンを押す（ピッ）



●ノズルが前後に伸縮し、広範囲をまんべんなく洗浄します。
●ムーブ洗浄中はノズル位置調整ができません。ノズル位置を調整する場合は、ムーブ洗浄をやめてください。

＜ムーブ洗浄をやめたいときは＞

再度、（ムーブ） ボタンを押す（ピッ）

通常の洗浄に戻ります。

集中洗浄（おしりを集中水流で洗浄）

おしり/集中 ボタンを２回押す ピッ ピッ

●洗浄範囲を狭くして、洗浄水の飛び散りを抑えて洗浄します。おしりへの当たりは強くなります。
●おしり洗浄中は、おしりボタンを１回押すと集中洗浄になります。
●おしりボタンを約３秒間押しても集中洗浄になります。
●集中洗浄中にノズル位置の調節やムーブ洗浄をすることができます。

＜集中洗浄をやめたいときは＞

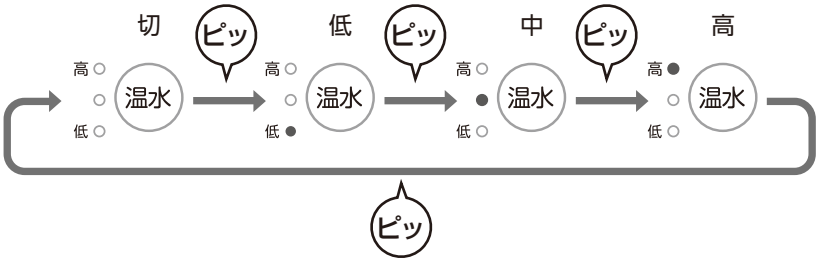
再度、ボタンを押す ピッ

通常の洗浄に戻ります。

温水温度の調節

温水ボタンを押す

●３段階で調整できます。
●ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。

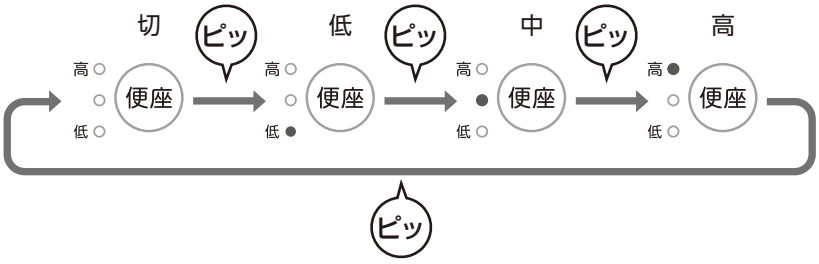


お知らせ
●冬季などで入水温度が低い場合には、温水温度を「高」に設定してもぬるめに感じることがあります。

便座温度の調節

便座ボタンを押す

●３段階で調整できます。
●ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。



お知らせ
●周囲温度によって、便座温度は変化します。
お使いにならないときに便座ふたを閉めておくと、便座の温度低下を抑え、また電気代の節約にもなります。
●約15分連続で使うと低温やけど防止のため、便座温度が自動的に「低」になります。
（一度立ち上がって座り直すと元の設定温度に戻ります）

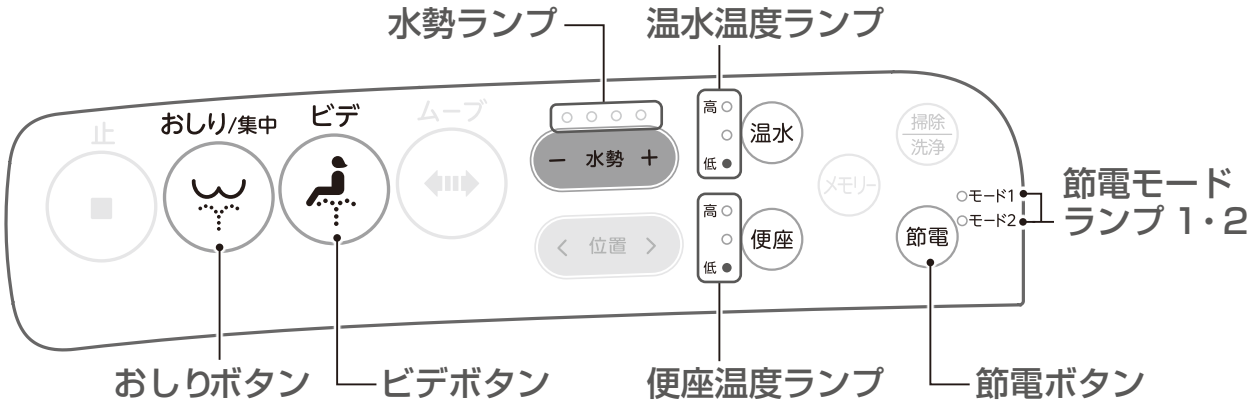
操作音

操作パネルを操作すると、ブザー音（ピッ）が鳴ります。
気になるときはブザー音を消すこともできます。

おしり/集中 **と** 節電 **ボタンを同時に約３秒間押す** ピッピッ

●ブザー音が鳴らなくなります。
●もう一度同じ操作をする ピッ と再びブザー音が鳴るようになります。

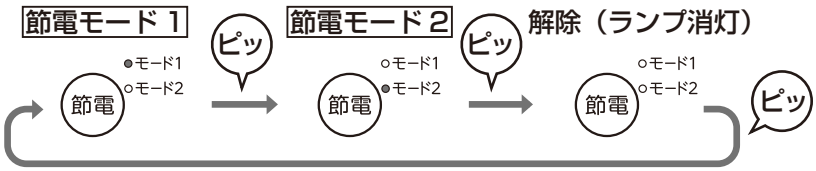
使いかた（つづき）



節電

節電ボタンを押す

押すたびに右のように設定を変更します。



節電モード 1

設定温度（低、中、高）に関係なく、便座温度は約 28℃で待機します。
（便座温度の待機温度を低くして節電します）

便座に座る（着座スイッチが検知する）と、便座ヒーターに通電し、設定温度まで上がります。
●設定温度になるまで、約 5 分かかります。周囲温度などにより時間は異なります。

便座から立ち上がると、便座は待機温度（約 28℃）に戻ります。

節電モード 2

便座ヒーターへの通電を節電モード2に設定したときから、8 時間止めて電力消費を抑えます。
●8 時間止まった後、便座ヒーターへの通電は再開され、設定温度で 16 時間運転します。
16 時間運転後、8 時間止まるという動作を解除するまで毎日繰り返します。
（→ 23 ページ「節電モード2 設定中の状態の例」参照）
●就寝前などに設定すると夜間あまり使用しない時間帯の電力の節約になります。

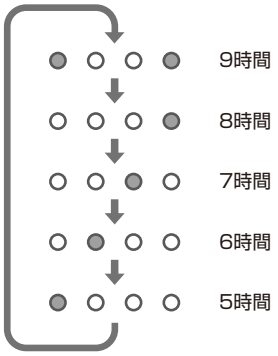
便座に座る（着座スイッチが検知する）と…
●通電が止まっている時間帯でも、便座ヒーターに通電し、設定温度まで上がります。
（設定温度になるまで、約 7 ～ 9 分かかります。周囲温度などにより時間は異なります。）
●「節電モード 2」以外のランプも点灯します。

便座から立ち上がると…
●座る前の状態に戻り、「節電モード 2」以外のランプは消灯します。

通電を止める時間を 5 ～ 9 時間（1 時間単位）に変更することができます。

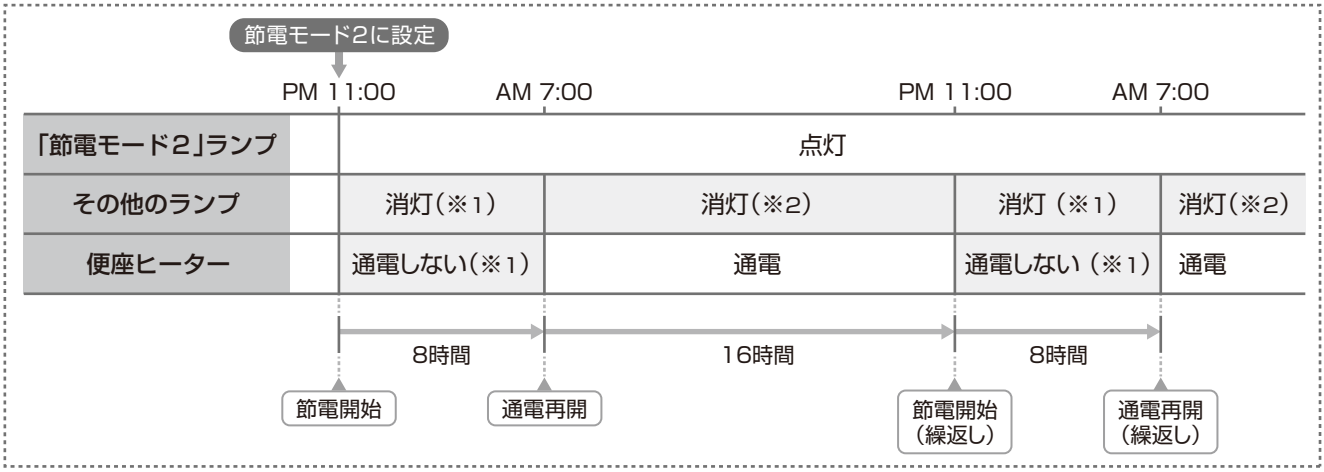
1．「おしり」と「ビデ」ボタンを同時に約 3 秒間押す（ピッ）
水勢ランプが節電時間を表示します。
2．「おしり」ボタンを押す（ピッ）たびにランプが切り替わり、
節電時間が変わる
3．「ビデ」ボタンを押す（ピッ）
または、1 分間ボタンを操作しないと、通常の使用状態に戻ります。

●通電を止めている間は、「節電モード 2」のランプのみが点灯しています。
（着座しなければ、他のランプは点灯しません）



節電モード２設定中の状態の例

［例］：「通電を止める時間：８時間」／「節電モード２開始時刻：午後 11 時」に設定した場合

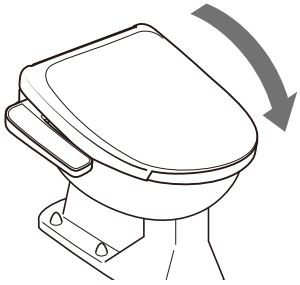


（※1）：●節電モード２設定中に便座に座ると、一時的に節電モード２が解除されます。
「節電モード２」以外のランプも点灯し、便座ヒーターに通電します。
●立ち上がると、座る前の状態（節電モード２）に戻ります。
（※2）：●便座に座ると「節電モード２」以外のランプも点灯します。

その他の節電のコツ

●便座ふたは閉じておく

使用後に便座ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができます。



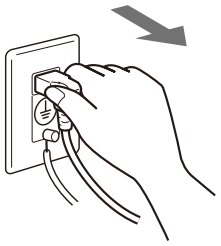
●設定温度を低めにする

季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。



●こまめに電源を切る

外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。



お知らせ

●瞬時停電などにより、節電モードが解除されることがあります。その場合は、再度設定してください。
●瞬時停電などにより、節電モード２の通電停止時間が工場出荷時の８時間になっていることがあります。
通電を止める時間を変更したい場合は、再度設定してください。

脱臭

脱臭運転は着座すると着座スイッチにより自動的に脱臭ファンの動作が始まり、立ち上がると約 1 分後に自動停止します。（電源プラグを差し込むと脱臭運転をするように設定されます）
脱臭運転は、解除することができます。

＜脱臭運転を解除したいときは＞

水勢（－）と（温水）ボタンを同時に（ピッピッ）約3秒間押す



●便座温度ランプが順に点灯し、上から下へ４回スクロールし、解除を受け付け

＜脱臭運転を設定したいときは＞

再度、水勢（－）と（温水）ボタンを同時に（ピッ）約3秒間押す



●便座温度ランプが順に点灯し、下から上へ４回スクロールし、設定を受け付け

お知らせ

●脱臭は、約 15 分で自動的に停止します。続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
●脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

お手入れのしかた

⚠ 警告



お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

⚠ 注意

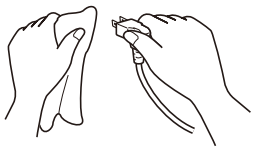


酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。

●除菌シート、化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書に従ってください。

電源プラグ

電源プラグを抜き、かわいた布でほこりなどをふき取る



本体

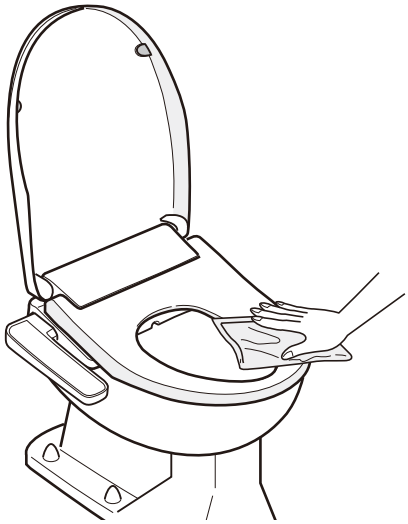
1. 電源プラグをコンセントから抜く

2. 柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく

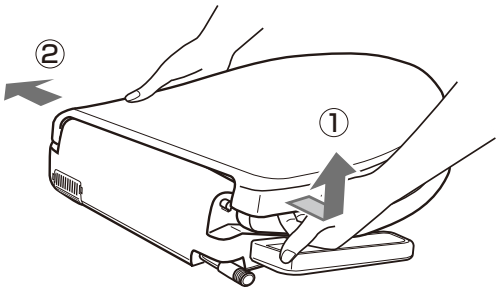
3. よごれがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする

- ●洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
- ●便座ふたは取りはずしてお手入れできます。
- ●本体も便器から取りはずしてお手入れできます。(→ 25 ページ)
- ●本体裏側の脱臭吸込口のほこりなどは、ふき取ってください。

4. お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む(→ 17 ページ)

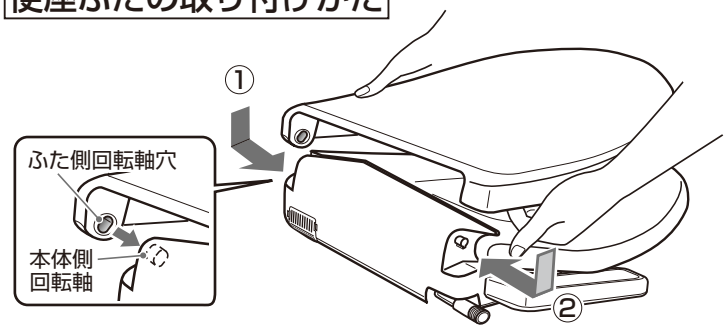


便座ふたの取りはずしかた



①便座ふたを閉じた状態で、左側を広げるようにして持ち上げて本体側の回転軸からはずす
②便座ふたを右側に移動させながら本体からはずす

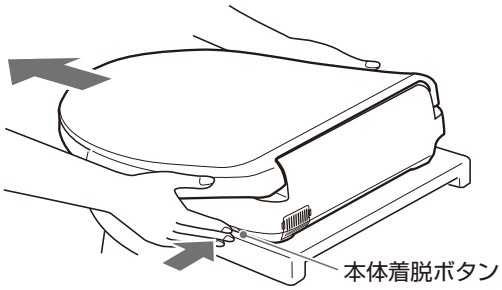
便座ふたの取り付けかた



①便座ふたを閉じた状態で、便座ふた右側の回転軸穴を、本体側の回転軸に差し込む
②便座ふたの左側を広げながら、便座ふた左側の回転軸穴を本体側の回転軸に差し込む
③便座ふたを何回かゆっくりと開閉させて異常のないことを確認する

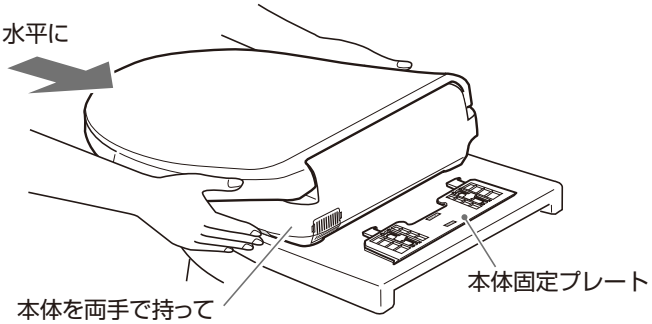
お願い
●便座、便座ふたを無理に閉めないでください。回転軸が破損して便座、便座ふたの開閉に支障をきたすことがあります。

本体の取りはずしかた



① 電源プラグをコンセントから抜く
② 本体右奥にある本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出す

本体の取り付けかた



① 本体固定プレートガイド(→7ページ)と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで水平に押し込む
② 電源プラグをコンセントに差し込む（→ 17 ページ）

お願い
●便座・便座ふたを持って本体を持ち上げないでください。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
●取りはずした本体を裏向きに置かないでください。傷・故障の原因になります。

⚠注意

指示

ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める
水もれの原因になります。

ストレーナー

1. 電源プラグをコンセントから抜く

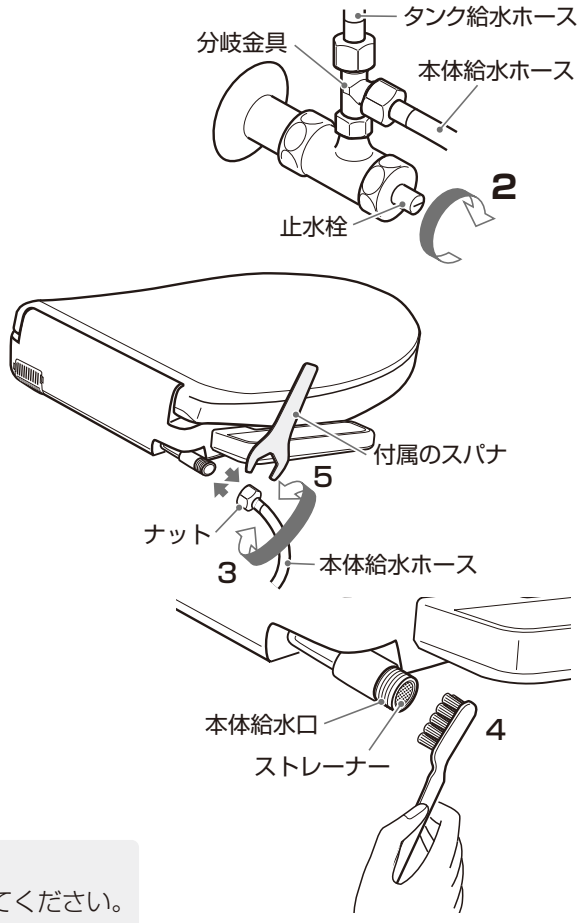
2. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める

3. 本体から本体給水ホースを取りはずす
●給水ホース内の残水で床をぬらさないように気をつけて、付属のスパナでナットをゆるめてください。

4. 歯ブラシなどでストレーナー部の掃除をする
●ストレーナーは本体給水口に内蔵されています。

5. 本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける
●ナットは付属のスパナで締め付けてください。
●水もれしていないか確認してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込む(→17ページ)



お願い
●ナットから水もれしていないか、**定期的（月1回）**に確認をしてください。

お手入れのしかた（つづき）

ノズル

1 電源プラグをコンセントに差し込む（→ 17 ページ）
便座ふた、便座を開ける



2 ＜ノズル掃除＞
掃除 洗浄 ボタンを押す（ピッ）
（ノズルが出てくる）

- ノズルを出してお掃除します。
- ノズルが洗浄されながら伸縮し、ノズルが出た状態で停止します。 → 手順３へ進む

お願い
- ノズルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

＜ノズル洗浄＞
掃除 洗浄 ボタンをもう1回押す（ピッ）
（ノズル洗浄開始　約１分間）

- 連続流水によるノズルの自動洗浄（除菌※）を行います。
- ノズルはご使用のたびに洗浄されるため、頻繁に行う必要はありません。週 1 回を目安に行ってください。
- 「掃除 / 洗浄」ボタンを２回連続で押してもノズル洗浄になります。
- ノズルが出ている場合は、本体に収納されノズル洗浄されます。
- 途中で「掃除 / 洗浄」または「止」ボタンを押すと自動洗浄は止まります。

■「掃除 / 洗浄」ボタンについて

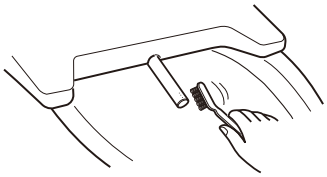
1回押す	ノズル掃除
↓	
もう1回押す	ノズル洗浄
↓	
もう1回押す	ノズル洗浄が止まる

※除菌部分：ノズルの穴近傍
試験機関：(株)衛生微生物研究センター
試験方法：ノズル洗浄評価試験
除菌方法：流水による洗浄
試験結果：1 分間洗浄後 99%以上抑制
(実使用での実証結果ではありません)
上記試験は1種類のみの菌で実施
試験番号：2025D-BT-07019

3 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

お願い
- ノズルの穴を傷つけないでください。
- ノズルに無理な力を加えないでください。ノズル動作中にノズルを無理に押さえると内部のギアが破損するおそれがあります。



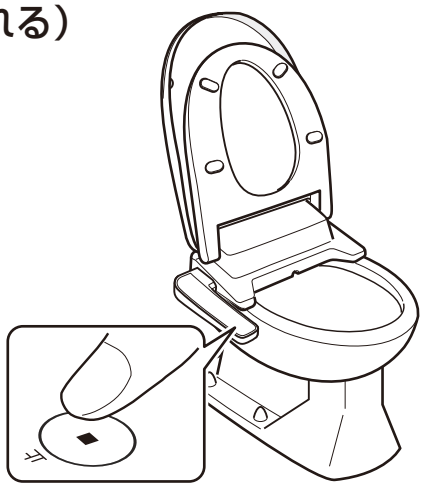


4 止 ■ ボタンを押す（ピッ）（ノズルが本体に収納される）

- 「掃除 / 洗浄」ボタンでも操作できます。
- ノズルが戻るときに、ノズルを引っ張らないでください。

お願い
- ノズル掃除が終わったら、必ず「止」ボタンまたは「掃除 / 洗浄」ボタンを押してノズルを本体に収納してください。ノズルを本体に収納しないと、正常に使用することができません。

お知らせ
- ノズルが本体に収納されるとき、音がすることがありますが、異常ではありません。



5 便座、便座ふたを閉める
- 便座・便座ふたはゆっくりと閉めてください。

⚠注意

禁止

脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。

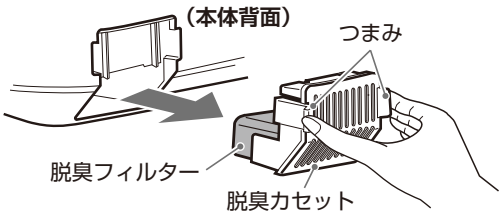
禁止

脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

脱臭フィルター

1 つまみをつかんで脱臭カセットを引き出す

お願い
●脱臭フィルターの水洗いはしないでください。
性能が低下したり、形がくずれることがあります。



2 脱臭カセットと脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く

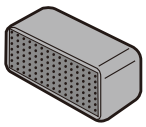
●脱臭フィルターの格子部分に触れると黒くよごれることがあります。身体や衣類によごれが付いた場合は水洗いしてよごれを落としてください。

3 脱臭カセットを元通りに差し込む

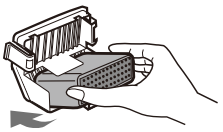
■脱臭フィルターのお取り替え

脱臭フィルターの寿命は約５年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。
脱臭フィルターのご購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

■脱臭フィルター
（部品コード：50485001）



1.寿命になった脱臭フィルターを引き抜く
2.新しい脱臭フィルターをカセットに差し込む



異常報知について

本体に異常が発生するとランプが点滅してお知らせします。

状　態	考えられる原因	処置のしかた
高 温水 低	●入水温度異常 ●入水温度センサーの故障による温水温度制御不能	ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。
高 温水 低	●出水温度異常 ●出水温度センサーの故障による温水温度制御不能	
一 水勢 ＋	●通水検知異常 断水のときなどに洗浄ボタンを押すと水勢ランプが点滅することがあります。断水状態が解消された後、着座すると水勢ランプの点滅は点灯に変わりますので、そのままお使いください。	
高 便座 低	●便座温度異常 ●便座温度センサーの故障による便座温度制御不能	
モード1 モード2 節電	●漏電検知	
高 温水 低	●本体内部凍結予防 入水温度が１℃以下の場合は、本体内部の凍結予防のため自動で水を入れ替えます。	—

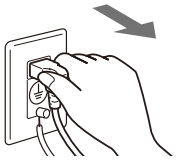
●電源プラグを差し込むとすべてのランプが点滅しますが、初期動作によるもので異常ではありません。（→ 17 ページ）

凍結予防・長期間使わないときの処置のしかた

凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。
ただし、下記の処置をするとロータンクおよび本体に給水されずトイレは使えません。

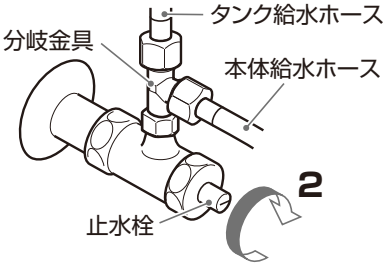
1 コンセントから電源プラグを抜く

●電源プラグを抜かずに本体内の水を抜くと、温度ヒューズが溶断し、故障の原因になります。



2 止水栓を閉める

●マイナスドライバーなどで止水栓を閉めてください。

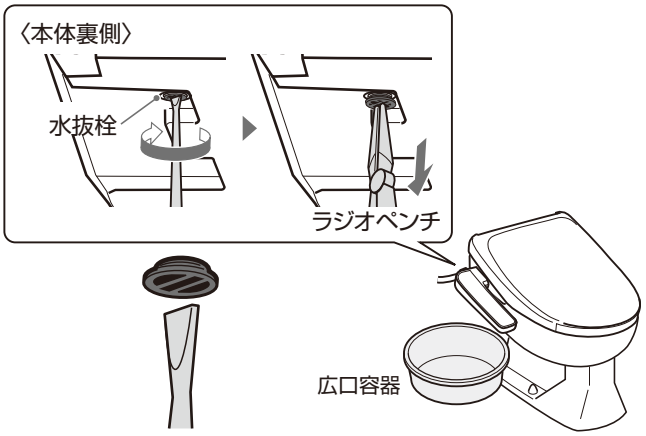


3 本体内の水を抜く

1. 便座を便器からはずす
(→ 25 ページ)

2. マイナスドライバーで水抜栓を回してから、ラジオペンチで引き抜く

●排水は、2L 以上の広口容器で受けてください。

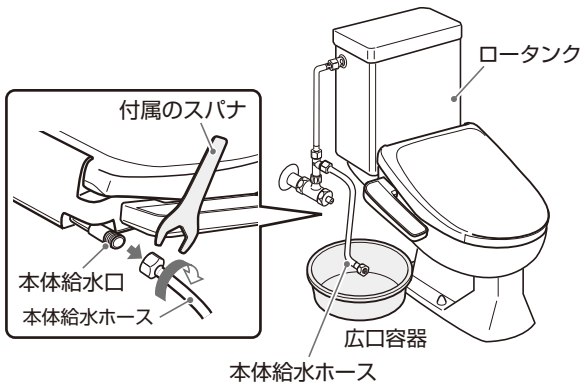


4 給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、先端部分を広口容器に入れる

2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする

●ロータンクのレバーを回すと、本体給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。



凍結予防を解除する・使用を再開する

1 水抜栓を元通りに取り付ける

2 本体給水ホースを元通りに取り付ける

15 ページ「本体給水ホースを取り付ける」手順 2・3 参照

3 止水栓を開ける

4 電源プラグを差し込む

(→ 17 ページ)

故障かな？と思ったら

修理サービスを依頼される前に、
次の点をお調べください。

状　態	お調べいただくこと	原因・処置方法	ページ
動かない	●停電していませんか。 ●ブレーカーが切れていませんか。	●停電の復帰を待ってください。 ●ブレーカーを「入」にしてください。	－
	●電源プラグが抜けていませんか。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	17
	●便器のふちに便座裏側の前脚が正しく載っていますか。	●便座裏側の前脚の中心が便器のふちに載るように調整してください。	12
	●「掃除 / 洗浄」ボタンを押した後、ノズルが出たままになっていませんか。	●「止」ボタンまたは「掃除 / 洗浄」ボタンを押して、ノズルを本体に収納してください。	26
	●初期動作確認で着座スイッチが ON にならないまま操作していませんか。	●便座（着座スイッチ）を押しながら操作ボタンを押してください。	17
ノズルが出ない	●便座の中央部に腰かけていますか。	●便座の中央部に座り直してください。	18
洗浄水が出ない	●断水していませんか。	●断水の復帰を待ってください。	－
	●止水栓が閉まっていませんか。	●止水栓を開けてください。	16
	●本体給水ホースなどが凍結していませんか。	●お湯に浸した布などで凍結部を温めるか、または室内を温めて解凍してください。（熱湯や熱風による解凍はホースを破損するおそれがあります）	－
洗浄水が出るまでに時間がかかる / 出ない	●冬季など水温が低くなっていませんか。	●水温が低いため、ボタンを押してから洗浄水（温水）が出るまでの時間が長くなることがあります。	－
ノズルの周辺から水が流れる、洗浄水が止まらない	●おしり / ビデ洗浄の開始前や終了後ではありませんか。	●洗浄前と洗浄後にノズルの洗浄をします。故障ではありません。	18
水勢が弱い	●ストレーナーにゴミが詰まっていませんか。	●ストレーナーを掃除してください。	25
	●本体給水ホースが折れ曲がっていませんか。	●ホースの折れ曲がりをなくしてください。	15
	●ノズルが目詰まりしていませんか。	●ノズルを掃除してください。	26
	●水勢が「1」や「2」になっていませんか。	●水勢を「5」に調節してください。	20
水勢が弱い / 強い（いつもと違う）	●冬季など水温が低くなっていませんか。	●水温が低い場合は、流量を調整して水温の影響を抑えます。故障ではありません。	5
洗浄水がぬるい、冷たい	●温水温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	●設定温度を「中」「高」に調節してください。	21
手洗いの水の勢いが弱い / 出なくなった	●止水栓が絞られて水圧が弱くなっていませんか。	●止水栓が全開になっていない場合は止水栓を開いてください。	16
便座がぬるい、冷たい	●便座温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	●設定温度を「中」「高」に調節してください。	21
	●節電ランプが点灯（節電モード設定中）していませんか。	●節電モード設定中は、温まるまでに着座後約５～９分＊がかかります。	22
脱臭が動作しない	●便座の中央部に腰かけていますか。	●便座の中央部に座り直してください。	18
	●脱臭運転を解除していませんか。	●脱臭運転を設定してください。	23
脱臭が途中で止まる	●15 分以上着座していませんか。（約 15 分で脱臭が止まります）	●一度立ち上がって座り直してください。	23
においが取れなくなった	●脱臭フィルターにほこりが詰まっていませんか。	●脱臭フィルターのお手入れをしてください。	27
本体がガタつく	●本体を固定している取付ボルトの締め付けがゆるんでいませんか。	●取付ボルトを締め付け直してください。	11

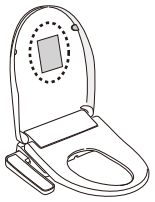
＊周囲温度などにより時間は異なります。

安全にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

■本体への表示内容

●経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。
●製造年（本体に西暦 4 桁で表示しています）



⚠

【想定安全使用期間】 10 年（一般家庭用に設置された場合）
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。
無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V、50/60Hz	機器の定格電圧／周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422 による
	給水温度・給水圧	15℃　0.2MPa	JIS A 4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422 による
想定条件	4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）において、大便：1 回／日・人、小便男性：4 回／日・人、小便女性：4 回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする		JIS A 4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

仕 様

	形 名	SCS-SCK7020
	電 源	交流 100V　50/60Hz 共用
	年間消費電力量（2012 年度基準）※1	84kWh/ 年（120kWh/ 年）
	省エネ基準達成率（2012 年度基準）※1	160%
	区分※2	瞬間式
	定格消費電力	1250W（電気瞬間湯沸器 1200W・電気便座 50W）
	使用可能給水圧力	0.05 ～ 0.75MPa
	給水温度	約 5 ～ 35℃
温水洗浄装置	おしり洗浄	約 0.31 ～ 0.46L/ 分
	ビデ洗浄	約 0.30 ～ 0.42L/ 分
	水勢調節	おしり、ビデ各 5 段階
	温度調節※3	3段階調節（約 34℃～ 40℃）、「切」水温
	ノズル位置調節	7段階調節
	温水ヒーター	1200W
	安全装置	温度過昇防止器、温度ヒューズ
暖房便座装置	温度調節※3	3段階調節「低」約 31℃／「中」約 34℃／「高」約 37℃（約 35℃※4）、「切」室温
	便座ヒーター	50W
	安全装置	温度過昇防止器、温度ヒューズ
	脱臭装置	あり（触媒脱臭）
	節電モード	モード 1、モード 2（9,8,7,6,5 時間タイマー節電）
	そのほかの安全装置	漏電検知機能
	外形寸法	幅 466mm ×奥行 530mm ×高さ 128mm
	本体重量	約 4.5kg
	電源コード	長さ約 1.0m

※1 年間消費電力量測定基準
省エネ法（2012 年度基準）に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間（7.7 時間）で算出しています。タイマー節電機能を使用しない場合の消費電力量を（　）で表示しています。
※2 省エネ法（2012 年度基準）の区分。
※3 使用される環境条件により、変わることがあります。
※4「高」で着座していないときの温度です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス 必ずお読みください

❶基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

PC https://www.toshiba-lifestyle.com/jp/support/

スマートフォン・タブレット端末

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。
その場合は、お手数ですが、https://www.toshiba-lifestyle.com/jp/をご参照ください。

❷商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝生活家電ご相談センター」

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間　月～土　9:00～18:00　日・祝日　9:00～17:00
＊当社指定休業日を除く

携帯電話など　**0570-0570-33（通話料：有料）**
FAX　**022-224-6801（通信料：有料）**

※お電話をいただく際には、番号をよくお確かめのうえおかけ間違いのないようにお願いいたします。

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れ・部品の購入についてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝生活家電ご相談センター」（上記）にご相談ください。

保証書（一体）

- ●保証書は、この説明書の裏表紙に記載されています。
- ●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **●保証期間はお買い上げの日から１年間です。**
- ●保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- ●温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
- ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- ●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- ●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ●部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

29 ～ 30 ページ「故障かな？と思ったら」「安全にお使いいただくために」に従って調べていただき、なお異常があるときは、「止」ボタンを押して使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

[廃棄時のお願い]　廃棄はお住まいの市区町村のルールに従ってください。

愛情点検

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ！　定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ホコリなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

このような症状はありませんか。 電源プラグにたまっているホコリは取り除いてください。	●コンセントがガタついている。 ●水もれがする。 ●焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体に触ると、ビリビリ電気を感じる。 ●ボタンを押しても動作しないときがある。 ●電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。 ●そのほか、異常・故障がある。	▶ ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店または東芝生活家電ご相談センターに点検、修理をご相談ください。

東芝温水洗浄便座保証書

出張修理

形名		SCS-SCK7020
★お客様	お名前	ふりがな 様
	電話	(　　)　　－
	ご住所	〒
★お買い上げ日 西暦　　年　　月　　日		保証期間（お買い上げ日から） 本体　1年
★ご販売店(住所・店名・電話)		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは 31 ページをご覧ください。

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
修理の際には本書をご提示ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、運送などによる故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧による故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用、車両・船舶に搭載など）で使用された場合の故障、損傷。
   （ト）ご使用による容器のよごれ。
   （チ）消耗部品の交換。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、以下の窓口にご相談ください。

「東芝生活家電ご相談センター」
〒 212-0014　神奈川県川崎市幸区大宮町 1310
【 0120-1048-76】
携帯電話からのご利用は　0570-0570-33（有料）

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担　当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ライフスタイル株式会社
リビングソリューション事業部
〒212-0014　神奈川県川崎市幸区大宮町1310